

● 退院後の“困った”を減らすリハビリ設計を考える

退院で終わら せないリハ

2026

無料

01/24 土

10:00 - 12:00

ZOOMを使ったオンライン開催

GW1

生活に向けて

病院という守られ、配慮された空間で生活できていても、自宅に戻ったら生活が成り立たないケースがあります。

回復期入院中にどのようなリハを提供したら良いでしょうか。

GW2

就労に向けて

復職に直結するリハ、再就職に繋がるリハが理想です。

回復期入院中にどのようなリハをすると、復職・就労を果たしやすいでしょうか。

GW3

ありがたい情報

地域生活や就労に繋げるため

- ・生活支援員が欲しい情報
- ・職場が欲しい情報
- ・職業指導員が欲しい情報

を踏まえ、「助かりました!」と思える情報を考えましょう。

社会福祉法人 ほっと福祉記念会
多機能型事業所 からふる 施設長

講師：小林 尚人氏

私たちの法人理念は、

「人と人の架け橋を創造する」

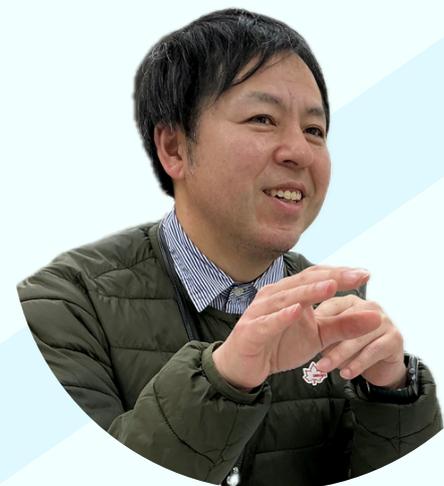
「ほっとな（あたたかい心、新しい感覚）想い」

を大切にし、地域社会に求められ、共に成長していくことです。

参加者の皆様と共に学び、当事者の方と地域の橋渡しができればと思います。



申し込み



福島高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会 代表：佐藤 伊久生

024-934-5718

fksm.hbd.rehab@gmail.com

郡山市八山田7-115 神経心理学研究部門